

# 山陽小野田市立山口東京理科大学 地域連携・社会貢献レポート

2021年4月～2022年3月



公立大学法人 山陽小野田市立  
**山口東京理科大学**  
Sanyo-Onoda City University



## 地域連携・社会貢献レポートの刊行にあたって

山陽小野田市立山口東京理科大学

学長 望月 正隆

平素から、本学の教育・研究活動にご理解とご支援等を賜り誠にありがとうございます。地域連携・社会貢献レポートをお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

山陽小野田市立山口東京理科大学は、公立大学の特徴を活かし、地域社会と地域産業の進行・発展に寄与する社会貢献活動を積極的に取り組んでいます。

特に、この度の世界中を揺るがす新型コロナ感染拡大の中においては、ワクチン接種にも積極的に協力しており、市の接種会場としての大学開放や小野田商工会議所と連携した職域接種など、医療系学部（薬学部）を有する大学としての役割をしっかりと理解し種々の取組を行っているところです。

さて、本学では「教育・研究と地域貢献が一体とした生涯教育の充実」を基本理念の一つとして掲げており、山陽小野田市立の高等教育機関として、山陽小野田市教育委員会と連携し、市内の小・中学校を対象とした出前実験講座「ほんものの科学体験講座」や「おくすり教室」を実施しており、また、市内の4高校と大学がICTとデジタル文具を駆使した共同授業「ニューノーマル時代の高大連携事業」を開講するなど、市内の小・中・高との連携を深化させるなど、人材育成の街、「緑の中でキラリと光る研究学園都市」の実現に向けて、山陽小野田市立山口東京理科大学が地域になくてはならない存在感に成長させるべく取り組んでいるところです。

具体的には、研究については、市内公的機関及び企業から要望された地域課題の解決を目的とした「地域課題解決研究」に取組み、学内研究成果報告会を開催するなど、地域貢献型の継続的な事業として確立させるとともに、地域産業界との共同研究等の活発化させており、今後、大学院生の増加とともに、さらに多くの研究成果が生み出されることに努めています。

また、教育については、大学の特徴の一つとして、学部横断的に数理・データサイエンス系教育の充実を図るこことしており、近い将来、工学部に「数理情報科学科」を設置する準備を進め、数理的素養を身に付けたデータサイエンティストを養成するという新たな教育目標を実行していきたいと考えております。このほか、薬学部では、医薬品の製造と品質管理に関する国際基準の知識と技術を身に付けた薬剤師を育成する「GMP カレッジ」を、山口県・山口県製薬工業協会と連携して取組むとともに、地域で活躍する病院薬剤師、行政薬剤師、薬局薬剤師から仕事内容や職場について学ぶ「薬学的サイエンス・カフェ」を、山口県・山口県薬剤師会と連携して取組んでいるところです。学生の教育に対する満足度も高い水準を維持しており、引き続き質の高い教育を進めていくこととしています。

このほか、女性活躍推進、ダイバーシティ推進するため、「ダイバーシティ推進室」を設置し、女性研究者への研究費支援、ダイバーシティセミナーの開催、女性限定の教員の公募、短期学童保育などを行って、地域連携・社会貢献を推進していくこととしています。

コロナ禍の中、全ての活動が順調に進展していないものもありますが、どうか市民・県民の皆様、また、関係者の皆様には、私たちのビジョンやその現実に向けた活動について、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 山陽小野田市立山口東京理科大学の地域連携・社会貢献の取り組み

本学の地域連携・社会貢献の取り組みは、設立母体である山陽小野田市から提示された中期目標のうち「地域社会との連携、地域貢献に関する目標」の達成に向け、本学が2016年4月1日から2022年3月31日までの6年間に実施する「地域社会との連携、地域貢献に関する中期計画」に基づいて行われています。

本レポートでは、本学が中期計画に基づき、2021年度に行いました地域連携・社会貢献の取り組みの一部をご紹介します。

### <地域社会との連携、地域貢献に関する中期計画>

#### 1. 地域コミュニティの中核的存在としての拠点化

- (1) 地域連携センターの生涯学習部門及び地域連携室を中心に地域社会との連携や地域貢献活動を推進強化します。
- (2) 講演会、研修会、教育・教養講座及び中高教員向け教育等を計画、実施します。
- (3) 地域の技術力向上の支援（技術相談、企業教育支援、専門家派遣、人材の供給等）を行います。
- (4) 学生向けの地域教育の推進及び地域活動の支援（大学施設・設備の提供、教員知識の活用等）を行います。
- (5) 地元小中高への出前授業や実験体験、市民への大学開放を実施します。

#### 2. 産業界との連携

- (1) 大学の技術シーズと企業の技術ニーズのマッチングを図り、支援する仕組みを構築します。
- (2) 研究連携、シンポジウム、セミナー及び研究成果の活用促進等大学の外に向けた活動を活性化します。

#### 3. 政策形成等に貢献するシンクタンク機能の発揮

- (1) 地域の課題に対して積極的に市や商工会議所の委員会、審議会に参加します。

#### 4. 学生の地元定着

- (1) 入学者に占める県内学生割合の向上  
入学者選抜の適正な実施に留意しつつ、入学者に占める県内出身者の割合を高めていきます。
- (2) 県内就職割合の向上  
大学を卒業し、県内に就職する者の割合を高めていきます。

## 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 社会貢献レポートの刊行にあたって               | 1  |
| 本学の地域連携・地域貢献の取り組み              | 2  |
| 1. 市民への貢献                      |    |
| (1) 山陽小野田市の新型コロナワクチン集団接種に本学が協力 | 5  |
| (2) 薬草による健康づくり講座               | 5  |
| (3) 「幼児のための感染対策カルタ」を寄贈         | 6  |
| (4) サイエンス・カフェ                  | 6  |
| (5) 地域課題解決研究成果発表会              | 7  |
| 2. 高等学校との連携                    |    |
| (1) ニューノーマル時代の高大連携授業           | 7  |
| (2) 教育連携会議を開催                  | 8  |
| (3) 出前講義                       | 8  |
| 3. 産業界との連携                     |    |
| (1) 小野田商工会議所と本学との共同ワクチン接種      | 9  |
| (2) 山口 GMP カレッジワークショップを開催      | 9  |
| (3) イノベーション・ジャパン 2021          | 11 |
| (4) アグリビジネス創出フェア 2021          | 11 |
| (5) 研究シーズ集の発刊                  | 11 |
| (6) 商工会議所会報による研究紹介             | 12 |
| 4. 地域団体との連携                    |    |
| (1) 第12回 SOS 健康フェスタ            | 12 |
| 5. 学生による地域貢献                   |    |
| (1) 「残薬」に関するポスターを制作            | 13 |
| 6. 地域の知を教育に生かす取り組み             |    |
| (1) 地域卒業研究                     | 13 |
| (2) リーダーシップ論                   | 14 |
| (3) 地域技術学                      | 14 |
| (4) 地域産業論                      | 15 |
| (5) 地域社会学                      | 15 |
| (6) 市内県内企業見学                   | 16 |
| (7) 行政薬剤師による講義                 | 16 |
| (8) 大学リーグやまぐち                  | 16 |
| (9) 薬学教育のための市民模擬患者             | 17 |
| (10) 市内企業インターンシップ              | 17 |
| (11) 県内企業インターンシップ              | 17 |
| (12) 学術と地域文化                   | 17 |

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 7. 地方公共団体との連携             |    |
| (1) 山陽小野田市長による特別講義        | 18 |
| (2) 市立図書館との相互利用           | 19 |
| (3) 江汐公園にある薬学部附属薬用植物園を活用  | 20 |
| (4) 住まいる奨励金               | 20 |
| (5) スマイルチケットを本学学生全員に配布    | 20 |
| (6) 認知症サポーター養成講座を受講       | 21 |
| (7) 各種委員の応嘱（行政関係）         | 22 |
| 8. 消防署との連携                |    |
| (1) 学生消防団員                | 24 |
| (2) 防災訓練                  | 24 |
| (3) 普通救命講習                | 25 |
| 9. その他の取り組み               |    |
| (1) 船鉄バスのフリーパスについて        | 26 |
| (2) 研究機器の開放               | 26 |
| 10. 地域からの入学               |    |
| (1) 地域推薦入試                | 27 |
| (2) 入学者に占める山口県出身者（学部）     | 27 |
| 11. 地域への人材輩出              | 28 |
| 12. 地域への経済波及効果            | 28 |
| 13. 市内人口の約 40 人に 1 人が理科大生 | 28 |

## 1. 市民への貢献

### (1) 山陽小野田市の新型コロナワクチン集団接種に本学が協力

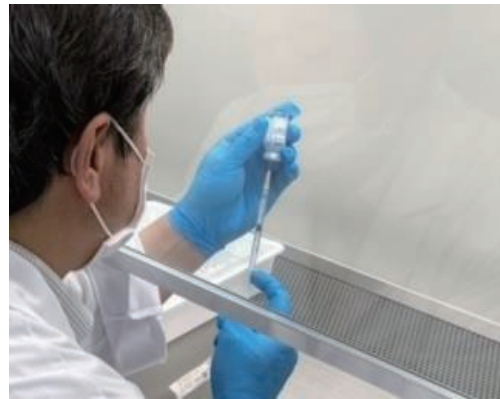
開催日：2021年8月1日（日）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学 ほか

内 容：山陽小野田市が実施する新型コロナワクチン集団接種について、会場提供等に全面的に協力しました。薬学部校舎を会場として、大学近隣住民を含む市民などを対象に行われました。

本学から、医師、薬剤師、保健師、看護師が参加し、薬剤師の資格を有する教員は無菌製剤室でワクチン充填を行いました。

また、同日、別の集団接種会場である山陽小野田市民病院においても、本学の薬剤師の資格を有する教員が参加し、ワクチン充填を担当するなど積極的に協力しました。



### (2) 薬草による健康づくり講座

開催日：2021年6月26日（土）～2022年2月19日（土）

主 催：総合型地域スポーツクラブ「すげえちゃ・高泊」

後 援：（公財）山口県体育協会・生涯スポーツ推進センター、山陽小野田市

場 所：江汐公園、竜王山、山陽小野田市立山口東京理科大学

担 当：薬学部薬学科 嶋本顕 教授、田中宏幸 教授

内 容：共催として「2021年度 薬草による健康づくり講座」を開講しました。

本講座は「薬草を気軽に楽しく学びながら、健康寿命を延ばしてみませんか？」をコンセプトに、健康に関する様々な講義や体験活動を楽しみながら学ぶことができる内容となっており、2021年度は全10回開催しました。



第1回6月26日（土）の様子：施設見学に約30名が参加

### (3) 「幼児のための感染対策カルタ」を寄贈

担 当：薬学部薬学科 坂井久美子講師、百溪江教授、緒方浩二教授、福島聡助教、  
学外研究者 小林晃子

内 容：薬学部の教員が企画・発案・制作した「幼児のための感染対策カルタ」を、山陽小野田市近郊の保育園や幼稚園など92施設に寄贈しました。

このカルタは感染予防教育に役立ててもらうことを目的にしており、イラストから文書まで完全オリジナルとなっています。



### (4) サイエンス・カフェ

山陽小野田市立中央図書館を会場に、本学の教員が大学で取り組んでいる専門分野について分かりやすく紹介しました。2021年度の開催状況は次のとおりです。

|      |                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 第36回 | 2021年6月19日（土）（10名）<br>「未来を切り拓く超伝導先進技術」<br>工学部電気工学科 柁川 一弘 教授                 |
| 第37回 | 2021年10月30日（土）（14名）<br>「水と酸素の相互変換：未来を支える再生可能エネルギーの化学」<br>工学部応用化学科 太田 雄大 准教授 |

|        |                                                                                          |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 38 回 | 2021 年 12 月 25 日（土）（20 名）<br>「知っておきたい災害時の薬の知識」<br>薬学部薬学科 恵谷 誠司 教授                        |
| 第 39 回 | 2022 年 2 月 5 日（土）（18 名）<br>「アインシュタインが拓いた物理学の世界<br>～量子論・相対論・非平衡物理学～」<br>共通教育センター 吉井 涼輔 講師 |

## (5) 地域課題解決研究成果発表会

開催日：2022 年 3 月 14 日（月）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：本学の研究活動の振興を図るとともに、地（知）の拠点として、地域産業の振興や地域課題の解決に貢献することを目的として取り組みました。

午前の部：（薬学部）創薬学部門 30 テーマ、地域課題解決研究 5 テーマ

午後の部：（工学部・共通教育センター）先端工学研究部門 14 テーマ、地域課題解決研究 3 テーマ

に分かれ、学生発表を中心としたポスター形式で実施しました。

場所はきらきら食堂で、教員、学生、市、商工会議所、事務職員計 123 名の参加があり、終始活発な質疑応答が交わされました。



## 2. 高等学校との連携

### (1) ニューノーマル時代の高大連携授業

開催日：2022 年 1 月 26 日（水）

場 所：オンライン

内 容：本学と、山陽小野田市内の小野田高校、厚狭高校、小野田工業高校、サビエル高校の4高校は、ICT（情報通信技術）とデジタル文具を駆使した共同授業「ニューノーマル時代の高大連携授業」をオンラインにて実施しました。

4つの高校の生徒たちが、本学の学生たちと同一の時間に異なる受講場所（高校教室、大学教室、自宅等）で、本学の正規授業「教養の系譜：数学の時系列」を、デジタル文具である「Moodle（Web 支援）」、「Miro（Web 黒板）」、「Zoom（Web 会議）」及び ICT 端末（タブレット、ノートパソコン、電子黒板等）を駆使して共同で構築しました。

## (2) 教育連携会議を開催

開催日：2021 年 7 月 28 日（水）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山陽小野田市、山陽小野田市教育委員会、小野田高校、厚狭高校、小野田工業高校、サビエル高校及び山陽小野田市立山口東京理科大学は、「学ぶ喜び、知る喜び」をテーマに、緊密な協力関係を築き、山陽小野田市域における小学校から大学までの一貫教育を目指し、進学支援活動、教育支援活動、生涯学習支援活動、その他教育連携の4項目で連携する「包括連携教育・協力に関する協定」を締結し、「教育連携会議」を定期的に開催しています。

## (3) 出前講義

高校生を対象に、本学教員が高校に出向いて講義を行いました。

2021 年度の出前講義の実施状況は次のとおりです。

| 実施日                 | 高等学校                   | 担当教員             |
|---------------------|------------------------|------------------|
| 2021 年 6 月 18 日（金）  | 山口県立山口中央高等学校           | 共通教育センター 浅野比 准教授 |
| 2021 年 7 月 15 日（木）  | 宇部フロンティア大学付属<br>香川高等学校 | 薬学部薬学科 黒川陽介 教授   |
| 2021 年 7 月 15 日（木）  | 山口県立熊毛南高等学校            | 薬学部薬学科 坂井久美子 講師  |
| 2021 年 9 月 16 日（木）  | 山口県立高森高等学校             | 薬学部薬学科 堀江一郎 講師   |
| 2021 年 9 月 21 日（火）  | 山口県立小野田高等学校            | 薬学部薬学科 松永浩文 教授   |
| 2021 年 9 月 30 日（木）  | 山口県立厚狭高等学校             | 工学部応用化学科 北條信 教授  |
| 2021 年 9 月 30 日（木）  | 山口県立厚狭高等学校             | 薬学部薬学科 松永浩文 教授   |
| 2021 年 10 月 15 日（金） | 山口県立下関西高等学校            | 薬学部薬学科 松永浩文 教授   |
| 2021 年 10 月 27 日（水） | 山口県立宇部中央高等学校           | 工学部機械工学科 結城和久 教授 |
| 2021 年 10 月 27 日（水） | 山口県立宇部中央高等学校           | 共通教育センター 浅野比 准教授 |
| 2021 年 11 月 2 日（火）  | 山口県立岩国高等学校             | 薬学部薬学科 緒方浩二 教授   |
| 2021 年 11 月 26 日（金） | 山口県立下関南高等学校            | 薬学部薬学科 松永浩文 教授   |

|                      |              |                |
|----------------------|--------------|----------------|
| 2021 年 12 月 21 日 (火) | 山口県立小野田高等学校  | 薬学部薬学科 田村雅史 講師 |
| 2022 年 2 月 18 日 (金)  | 山口県立山口中央高等学校 | 薬学部薬学科 黒川陽介 教授 |
| 2022 年 3 月 17 日 (木)  | 山口県立徳山高等学校   | 薬学部薬学科 松永浩文 教授 |
| 2022 年 3 月 17 日 (木)  | 山口県立下松高等学校   | 薬学部薬学科 田村雅史 講師 |

### 3. 産業界との連携

#### (1) 小野田商工会議所と本学との共同ワクチン接種

開催日：2021 年 9 月 17 日 (金)、18 日 (土)、19 日 (日)

10 月 15 日 (金)、16 日 (土)、17 日 (日)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：小野田商工会議所と本学との産学連携として、新型コロナワクチンの共同職域接種を実施しました。

商工会議所の会員事業所及び山陽小野田料飲組合加盟店の従業員とその家族、並びに本学の学生と教職員に加え、市内の小・中・高校の教員、中学生や高校生など、幅広い年齢層の方を接種の対象として実施しました。

集団接種には、本学教員を含む医師、薬剤師、保健師、看護師が携わり、薬剤師の資格を有する教員が無菌製剤室でワクチンの充填を行いました。



#### (2) 山口県 GMP カレッジワークショップを開催

開催日：2021 年 11 月 5 日 (金)、12 月 1 日 (水)、2022 年 1 月 25 日 (火)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山口県 GMP カレッジとは、山口県、山口県製薬工業協会、本学の産学公連携により医薬品製造所の人材育成・人材確保の支援および GMP に係る人材育成プログラムの作成・実施を目的とした、本学薬学部学生および医薬品製造所従事者向けの事業です。2021年度は、本学薬学部学生を対象としたワークショップを 3 回開催しました。

| ワークショップ | 日 時      | 概要                                                             |
|---------|----------|----------------------------------------------------------------|
| 1       | 11 月 5 日 | 医薬品の研究開発から製造・販売に関する<br>実地学習を行うため、本学4年生が日本歯<br>科薬品株式会社を見学及び仕事体験 |
| 2       | 12 月 1 日 | 日本製薬工業協会から、本学2年生と県内<br>の医薬品製造所に勤める従事者を対象に<br>GMP の講演           |
| 3       | 1 月 25 日 | 武田薬品工業株式会社光工場から、本学3<br>年生を対象に GMP の講演                          |



### (3) イノベーション・ジャパン 2021～大学見本市 Online～への出店

開催日：2021年8月23日（月）～9月17日（金）

場 所：オンライン開催

主 催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

共 催：文部科学省

内 容：国内最大級の産学連携マッチングイベント「イノベーション・ジャパン 2021～大学見本市 Online～」に出展し、本学の技術シーズを2件出展しました。

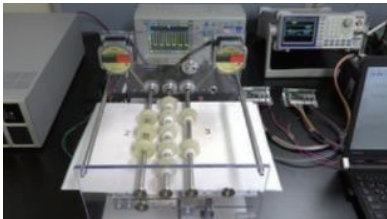
◇工学部 機械工学科

吉田和司 教授

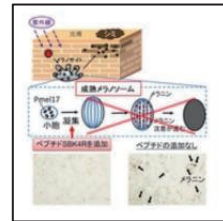
◇工学部 応用化学科

佐伯政俊 講師

「静電吸着による抵抗力を  
利用した紙媒体の繰出し機構」



「アミロイドシスの発症や皮膚の  
シミの形成を抑制する新規ペプチド」



### (4) アグリビジネス創出フェア 2021 への展示

開催日：2021年11月24日（水）～26日（金）3日間

場 所：東京ビッグサイト 青海展示棟

主 催：農林水産省

内 容：本県から3企業4機関（産学公）の英知を結集した「山口県発のスマート農業技術」を3ブース出展し、その内の1ブース「果樹用追従型運搬ロボット開発コンソーシアム」において、本学の池田毅 准教授（工学部機械工学科）が、CoRoCoの技術をもとにしたスマート農業技術の研究成果を展示しました。

### (5) 研究シーズ集の発刊

地域が抱える課題解決のヒントや企業の新規事業創出の一助になる「研究シーズ集」を制作し、市内外の関係機関に配付しました。併せて本学WEBサイトに掲載しました。

<研究シーズ集 URL>

<http://www.socu.ac.jp/laboratory/regional-collaboration/seeds.html>

## (6) 商工会議所会報による研究紹介

地元企業に、本学の研究技術を知っていただく機会の一つとして、小野田商工会議所、山陽商工会議所の会報に、毎月記事を連載しています。2021 年度に掲載した内容は次のとおりです。

| テーマ                                                                        | 担当教員               |
|----------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 生体内シグナル分子としての硫化水素とポリサルファイドの研究                                              | 薬学部薬学科<br>木村英雄 教授  |
| リウマチ膠原病患者の骨粗鬆症に対する副甲状腺ホルモン(PTH)製剤テリパラチド連日皮下注射製剤の治療継続率、安全性、血清カルシウム値変動に関する検討 | 薬学部薬学科<br>黒川陽介 教授  |
| 免疫機能の解析から老化関連疾患を予想・制御                                                      | 薬学部薬学科<br>篠原久明 教授  |
| 世界の情報から薬事規制分野で対応が必要な新しい技術を予測                                               | 薬学部薬学科<br>下川昌文 教授  |
| ヒートショックや酸化ストレスから身体を守る遺伝子スイッチの解析                                            | 薬学部薬学科<br>井上幸江 教授  |
| 肥満・生活習慣病や神経変性疾患の発症抑制に関わる因子・素材の解明                                           | 薬学部薬学科<br>細井徹 教授   |
| 大腸癌、膵臓癌に対して顕著な抗腫瘍効果を示す抗癌剤・阻害剤の組合せの探究                                       | 薬学部薬学科<br>西本新 教授   |
| 都合の良い高血圧治療薬の開発                                                             | 薬学部薬学科<br>百溪江 教授   |
| 院内感染防止への取り組み                                                               | 薬学部薬学科<br>山崎博史 教授  |
| 適切な感染制御（予防対策）の推進                                                           | 薬学部薬学科<br>頼岡克弘 教授  |
| 医薬品および健康影響物質の高感度計測法の開発とその生体効果の評価に関する研究                                     | 薬学部薬学科<br>和田光弘 教授  |
| 皮膚感作性を評価する簡便かつ迅速なペプチド結合試験法の開発                                              | 薬学部薬学科<br>有海秀人 准教授 |

## 4. 地域団体との連携

### (1) 第12回SOS健康フェスタ

開催日：2021 年 11 月 14 日（日）～2021 年 11 月 30 日（火）

場 所：オンライン開催

主 催：SOSかたつむりで行こう会

担 当：薬学部薬学科 田中宏幸 教授 「漢方薬ってどんなもの？」

内 容：S O S（Sanyo Onoda Station）かたつむりで行こう会主催のS O S健康フェスタは、地域住民の皆様健康づくりに関心を持って頂くためのイベントで、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催しました。本学からは健康づくりに関する動画を公開しました。

## 5. 学生による地域貢献

### (1) 「残薬」に関するポスターを制作

内 容：本学の学生が、「残薬」解決方法等に関する啓発ポスターを制作しました。入賞者には、山陽小野田薬剤師会の上林雅樹会長から記念品が授与されるとともに、作成された作品は、市内の薬局に順次掲示されました。山陽小野田薬剤師会と本学は、連携協定を締結しており、地域の健康、医療、福祉の発展に協力して取り組んでおり、今回のポスター制作は、山陽小野田市スマイルエイジング強化月間の一環として実施しました。



【各部門 入賞作品】残薬 知識編                      残薬 解決編

## 6. 地域の知を教育に生かす取り組み

### (1) 地域卒業研究

工学部の卒業研究において、学生が地域に関する研究テーマに取り組んでおり、2021年度には次のテーマに取り組みました。

本学では、地域に関する卒業研究を奨励しており、地域卒業研究に取り組む研究室には、学長から実験実習費の加算配分を行う制度があります。

| 研究テーマ                                                   | 研究室            |
|---------------------------------------------------------|----------------|
| 山陽小野田市内の農村部における冬農業の活性化（導入ラニングコストを劇的に低減する冬農業用熱制御システムの開発） | 工学部機械工学科 結城研究室 |

|                                                             |                |
|-------------------------------------------------------------|----------------|
| 山陽小野田市内小学生に対するワクワク感のある出前教育活動に向けて（プテラノドンは本当に飛ぶことができたのか？）     | 工学部機械工学科 結城研究室 |
| 未利用熱回収技術による省エネ工場に資する扇子型熱発電素子の設計開発                           | 工学部電気工学科 阿武研究室 |
| 書籍の微生物汚染度の調査およびその汚染対策                                       | 薬学部薬学科 尾家研究室   |
| 医薬品副作用自発報告データベースの解析に基づく「かかりつけ薬剤師」の服薬指導の充足と高齢者の医薬品による交通事故の回避 | 薬学部薬学科 恵谷研究室   |
| 多様性共存社会における災害支援に対応できる薬剤師育成のための研修プログラムの開発                    | 薬学部薬学科 恵谷研究室   |
| 山口県薬剤師会の在宅医療推進実績に関する質的データ分析                                 | 薬学部薬学科 相良研究室   |
| クロガネモチ（山陽小野田市の木）の芳香成分の分析                                    | 薬学部薬学科 吉見研究室   |

## (2) リーダーシップ論

地元産業界のリーダーを講師として招き、討論と分析・発表等を行いながら幅広い視野と分析力、意思決定力、問題解決力等を養いました。



山陽小野田市長  
藤田剛二 氏

## (3) 地域技術学

山陽小野田市内の企業が抱える課題について、学生が現地で現物を見ながら現実を学びつつ、ブレインストーミングや KJ 法、SWOT 分析などのツールを駆使して、課題の解決方法を検討し、発表する授業です。

社会人基礎力を習得し、就職に強い人材を育成するとともに、地域産業の現状について理解し、さらには地域における課題解決の助力となることを目的としています。

2021 年度は宇部フィルム株式会社、大阪新薬株式会社、共英製鋼株式会社、中国電力株式会社、長州産業株式会社、都市産業株式会社、永山酒造合名会社、株式会社 NITTAN、BASF 戸田バッテリーマテリアルズ合同会社、株式会社明防に協力を頂きました。

さらに小野田商工会議所会頭に地域産業の抱える課題に関する講演等を実施しました。



学生による現地視察（永山酒造）

#### (4) 地域産業論

持続可能な社会づくりのための4本柱である環境・社会・経済・制度について、山陽小野田市、山口県における産業の役割を学ぶ授業で、2021年度は関連する専門知識を有する11名の外部講師と企業勤務経験のある本学の教授による講義を行いました。



山陽小野田市役所の古川副市長による講義

#### (5) 地域社会学

学生が山陽小野田市内でフィールドワークを行い（地域に出て調査を行い）、集めたデータを統計的に分析し、地域課題の解決方法を考える授業です。2021年度は山陽オートレース場、川上地域、サビエル高校、きららガラス未来館、いきいき百歳体操の実施会場で学生がフィールドワークを行いました。この分析結果を踏まえ、課題の解決方法をフィールドワーク先の方々に提案しました。



川上地域でのフィールドワーク



きららガラス未来館でのフィールドワーク

## (6) 市内県内企業見学

開催日：2021年10月1日（金）・8日（金）（電気工学科）

2022年1月14日（金）（機械工学科）

場 所：中国電力株式会社

内 容：工学部電気工学科2年生57人及び工学部機械工学科2年生60人が、それぞれ学外学習として地元企業の中国電力株式会社の新小野田発電所を訪問し、エネルギー問題・環境問題を考え機会となりました。

## (7) 行政薬剤師による講義

開催日：2021年6月16日（水）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：早期体験実習の一環として、行政薬剤師（薬学人）が活躍する医療、保健、衛生、行政の現場に関する講義を聴講し、ディスカッションを行いました。

## (8) 大学リーグやまぐち

内 容：山口県内の高等教育機関の連携を深め、また、行政、産業界等と広範なネットワークを形成し、それぞれの特性を活かした様々な連携事業の実施を通じて、若者の定着促進並びに高等教育機関の地域貢献力及び教育・研究水準の一層の向上を図ることにより、地域社会の発展に寄与することを目的とした組織です。

本学も参加し、全体会議や県内就職部会、地域貢献部会といった会議に定期的に参加しました。

## (9) 薬学教育のための市民模擬患者

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：薬学生のコミュニケーション教育のため、一定のトレーニングの後、実際の患者さんのように症状や会話を表現できる患者役を演じる人のことを模擬患者（SP：通称エスピー）といいます。

薬学生の実習や実技試験では、患者役を演じていただきました。課題で準備されたシナリオを覚え、実際の患者になったつもりで、症状や副作用など薬の説明を受けました。



## (10) 市内企業インターンシップ

山陽小野田市内に立地する企業において、学生のキャリア教育や職業体験を支援するためインターンシップが行われており、積極的に学生が参加しています。2021年度は市内企業2社に対して3人がインターンシップに参加しました。

＜市内企業インターンシップ先＞

光洋技研株式会社山口工場/太平洋マテリアル株式会社小野田工場

## (11) 県内企業インターンシップ

山口県内に立地する企業を対象に、学生のキャリア教育や職業体験を支援するため、インターンシップが行われており、積極的に学生が参加しています。2021年度は県内企業25社に対して35人がインターンシップに参加しました。

## (12) 学術と地域文化

薬学部において、地域を理解し、物事を多角的にみる能力を養うことを目的に、外部講師を招聘する学術と地域文化を開講し、あらゆる分野の一線で、また、地域で活躍する人の話を聞き、人文科学、社会科学及び自然科学などを広く学ぶものです。

2021年度のテーマと講師は次のとおりです。

| 日付    | 講師氏名  | 所属等           |
|-------|-------|---------------|
| 4月13日 | 藤田 剛二 | 山陽小野田市長       |
| 4月20日 | 吉田 力久 | 山口県薬剤師会会長     |
| 4月27日 | 調 恒明  | 山口県環境保健センター所長 |

|        |        |                                              |
|--------|--------|----------------------------------------------|
| 5月11日  | 小野田 淳人 | 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部助教                         |
| 5月18日  | 久保 久美子 | 全日本かるた協会 初代永世クイーン八段                          |
| 5月25日  | 西川 慎   | ガラス工芸作家、株式会社ニシカワグラスアンドアート代表取締役               |
| 6月1日   | 玉村 信一  | 萩焼陶芸家                                        |
| 6月8日   | 國澤 純   | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所センター長                   |
| 6月15日  | 狭間 研室  | 日本在宅薬学会理事長、ファルコメディコ株式会社代表取締役社長               |
| 6月22日  | 岸本 充弘  | 下関市くじら文化振興室長                                 |
| 7月2日   | 磯部 総一郎 | 日本薬剤師会専務理事                                   |
| 7月6日   | 伊藤 比呂子 | 山陽小野田市福祉部高齢福祉課 地域包括支援センター副所長                 |
| 7月13日  | 豊島 聡   | 日本薬剤師研修センター理事長                               |
| 7月20日  | 尾山 貴子  | 山陽小野田市健康増進課次長                                |
| 7月27日  | 江川 英治  | カヤク・ジャパン株式会社厚狭工場 医薬品製造管理者                    |
| 9月21日  | 白澤 文吾  | 山口大学大学院医学系研究科医学教育学講座教授                       |
| 9月28日  | 河村 宣克  | 山口労災病院救急科部長                                  |
| 10月5日  | 米田 健治  | 宇部興産株式会社医薬事業部医薬研究所長                          |
| 10月12日 | 浅井 義之  | 山口大学大学院医学系研究科 AI システム医学・医療研究教育センター教授         |
| 10月19日 | 池辺 裕介  | 秋吉台自然動物公園サファリランド園長・獣医師                       |
| 11月2日  | 中島 伸樹  | 前山口県庁農林水産部職員・獣医職                             |
| 11月9日  | 半矢 幸子  | 山陽小野田市食生活改善推進協議会会長                           |
| 11月16日 | 隅 明憲   | 有限会社鹿野ファーム代表取締役                              |
| 11月30日 | 押村 光雄  | 株式会社 TransChromosomice 代表取締役                 |
| 12月7日  | 中津井 雅彦 | 山口大学大学院医学系研究科・医学部付属病院 AI システム医学・医療研究教育センター教授 |
| 12月14日 | 小林 晃子  | 山口県薬剤師会学校薬剤師部会理事                             |
| 12月21日 | 進藤 英朗  | 市立しものせき水族館海響館展示物動物健康管理室課長                    |
| 1月11日  | 町田 佳男  | 田辺三菱製薬工場株式会社小野田工場長                           |
| 1月18日  | 小林 誠   | 山口大学医学部先進予防医学講座教授                            |
| 1月25日  | 松田 正彦  | 立命館大学国際関係学部教授                                |

## 7. 地方公共団体との連携

### (1) 山陽小野田市長（藤田剛二氏）による特別講義

開催日：2021年4月13日（火）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：地域の専門家の話を聞き、学び、考えることで地域の歴史・文化の理解を深め、国際性（異文化・国際問題の理解）を涵養し、人間・社会・科学を幅広く俯瞰できる能力を養うことを目的とした講義「学術と地域文化1」にてご講

演いただきました。今回の講義では、『リーダーシップ論』をテーマとし、山陽小野田市政の紹介や具体例を用いたリーダーとしての取り組みや志についてご講演いただきました。



開催日：2021年9月30日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：地域の様々なリーダーたちから実例を学ぶことを通じて、学生が自分自身のリーダーシップのスタイルへの考察を深める講義「リーダーシップ論」にてご講演いただきました。『リーダーシップに纏わる人材育成』をテーマとし、コミュニケーションの取り方、10項目にわたる仕事の流儀、山陽小野田市におけるスマイルシティや協創によるまちづくりについて説明がありました。



## (2) 市立図書館との相互利用

山陽小野田市立図書館と本学図書館との包括的連携協定に基づき、市民の学習活動に資するため、また研究者や学生の教育、研究及び学習活動に資するため、図書館資料の相互貸借を行っています。

2021年度の大学と市立図書館間での相互貸借による利用冊数は31冊です。

市立図書館で直接借りた本を本学の図書館カウンターで返却することができるうえ、市立図書館の本をインターネット予約で借りる際、受渡館に「山陽小野田市立山口東京理科大学図書館」を選択することにより予約した本を本学の図書館カウンターで受け取ることができます。

### (3) 江汐公園にある薬学部附属薬用植物園を活用

山陽小野田市が運営する自然公園「江汐公園」内に、薬学部附属の薬用植物園の整備をしています。江汐公園は約 138 万㎡という広大な公園で、江汐湖を中心とする美しい自然環境に恵まれ、四季折々の花が咲き誇る山陽小野田市の観光名所として市民に親しまれています。薬学部附属の江汐公園薬用植物園は、3,000 ㎡の園内に約 400 種 1 万株の薬用植物が栽培され、大学構内の薬用植物園とともに学生の教育研究施設として利用するほか、薬草観察会など市民の生涯学習の場としても利用しました。



### (4) 住まいる奨励金

山陽小野田市は、市内に住民票がある新入学生を対象に、3 万円を上限に市内の協力店約 300 店舗で利用できる経済的助成制度として「住まいる奨励金」を創設されました。本学は、学生に周知を行うとともに奨励金の申請受付及び学生への給付を行いました。



山陽小野田市「住まいる奨励金」

### (5) スマイルチケットを本学学生全員に配布

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山陽小野田市は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため、市民の皆さんが市内のお店で利用できる商品券（スマイルチケット）を配布しました。  
本学の学生には、住民票がない学生でも全員が配布対象としていただきました。



## (6) 「認知症サポーター養成講座」を受講

開催日：2021年7月6日(火)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：薬学部1年生の「学術と地域文化1」の授業の中で「認知症サポーター養成講座」を受け、認知症の高齢者との関わり方について学びました。

山陽小野田市「地域包括支援センター」の協力のもと、保健師・伊藤比呂子様が講師として授業をされました。授業では、認知症の人への接し方について、急がせない、驚かせない、自尊心を傷つけないことが大切であること等、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに接する必要性を考える時間を持ちました。

受講後は、認知症サポーターとして認められた証であるオレンジリングが学生に授与され、受講した学生は認知症の人やその家族を見守る応援者となります。



## (7) 各種委員の応嘱（行政関係）

本学における 2021 年度の各種委員の応嘱の状況は次のとおりです。

| 委員会・審議会                                     | 内 容                                                                                                                                          | 本学委員等                                              |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会                        | 「山陽小野田市と山口東京理科大学との連携に関する協定書」第 4 条に基づき、市と大学の人的・知的資源を活用した連携協力事業に関する事項を協議します。                                                                   | 地域連携センター長<br>河合久雄 局次長<br>薬学部薬学科<br>学生部長<br>井上幸江 教授 |
| 山陽小野田市<br>都市計画審議会                           | 都市計画の内容、都市計画制限、都市計画事業など都市計画に関し必要な事項を定めることにより都市の健全な発展と秩序ある整備を図ります。                                                                            | 薬学部薬学科<br>望月正隆 教授                                  |
| 山陽小野田市<br>シティセールス推進協議会                      | 「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」の実現に向け、シティセールスを推進します。                                                                                             | 共通教育センター<br>土井浩 教授                                 |
| 山陽小野田市<br>地域公共交通会議                          | 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項など公共公共交通網形成計画について協議します。                                                                                   | 工学部電気工学科<br>井上啓 教授                                 |
| 山陽小野田市<br>観光関係団体ネットワーク会議                    | 山陽小野田市の観光関係団体や事業所のネットワークを構築します。                                                                                                              | 工学部電気工学科<br>井上啓 教授                                 |
| 山陽小野田市<br>教育に関する事務の<br>管理及び執行の状況<br>の点検及び評価 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、教育に関する事務の点検・評価を行うに当たり、客観性を確保するため教育に関し学識経験を有する方の知見を活用します。                                               | 共通教育センター<br>金田和博 教授                                |
| 山陽小野田市<br>図書館協議会                            | 山口東京理科大学図書館長に図書館協議会委員を委嘱しています。                                                                                                               | 共通教育センター<br>図書館長<br>堤千佳子 教授                        |
| 山陽小野田市<br>健康づくり推進協議会                        | 市民の実情に応じた健康づくり施策を推進します。                                                                                                                      | 薬学部薬学科<br>恵谷誠司 教授                                  |
| 山陽小野田市<br>スマイルエイジング<br>推進本部                 | 第二次総合計画における将来都市像「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向けて、スマイルアップを目指す重点施策に「スマイルエイジング」が追加されました。健康寿命の延伸を目指し、笑顔で年を重ねることのできるまちづくりにつながる諸施策を全庁挙げて積極的に推進するため、推進本部を設置します。 | 薬学部薬学科<br>武田健 教授                                   |
| 山陽小野田市<br>食育推進会議                            | 食育基本法に基づき、食育推進計画の作成及びその実施の推進のために設置し、第 2 次山陽小野田市食育推進計画に関して審議します。                                                                              | 薬学部薬学科<br>立花研 准教授                                  |
| 山陽小野田市空家等<br>対策協議会                          | 空き家の適正管理や利活用等の空き家対策を推進するため空家対策計画策定の協議を行います。                                                                                                  | 共通教育センター<br>金田和博 教授                                |
| 山陽小野田市<br>男女共同参画審議会                         | 男女共同参画の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画の策定及び変更に関することのほか、男女共同参画の推進に関する施策の基本的及び重要事項について審査審議します。                                                | 共通教育センター<br>池田容子 准教授                               |
| 山陽小野田市<br>ガラスのブランド化<br>推進協議会                | 本事業受託者と小野田ガラス株式会社が連携して作成する計画等について、ガラス、文化、商業、地域づくり等の関係団体から推薦された委員が、ガラスのブランド化について協議しています。                                                      | 共通教育センター<br>中村洋 講師                                 |

|                                   |                                                                                |                     |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 山陽小野田市下水道事業検討委員会                  | 汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しのために、総合的な視点から検討を行います。                                 | 工学部応用化学科<br>北條信 教授  |
| 山陽小野田市文化財審議会                      | 国・県・市が指定をしている文化財の保護や、収蔵に関すること、また今後の活用に関することを審議します。                             | 共通教育センター<br>内田陽三 教授 |
| 山陽小野田市かるた振興委員会                    | 山陽小野田市の特色ある文化のひとつである「小倉百人一首かるた」の普及振興に積極的に取り組み、芸術文化によるまちづくりを推進します。              | 薬学部薬学科<br>坂井久美子 講師  |
| 山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議                 | 高齢者の保健福祉環境づくりの総合的、かつ、計画的な推進に関する事項について調査し、審議します。                                | 薬学部薬学科<br>坂井久美子 講師  |
| 山陽小野田市文化によるまちづくり推進委員会             | 山陽小野田市における文化芸術の振興及び文化によるまちづくりの推進に関し、広く市民から意見を聴くため、山陽小野田市文化によるまちづくり推進委員会を設置します。 | 薬学部薬学科<br>坂井久美子 講師  |
| 山陽小野田市子ども読書活動推進計画検討委員会            | 山陽小野田市執行機関の付属機関に関する条例（平成 17 年山陽小野田市条例第 30 号）に基づき、山陽小野田市子ども読書活動推進計画について検討します    | 共通教育センター<br>堤千佳子 教授 |
| 山口県立豊浦高等学校学校運営協議会                 | 保護者及び地域の学校運営への参画促進や連携強化を進め、一体となって学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組み、地域とともにある学校づくりを推進します。     | 工学部応用化学科<br>星肇 教授   |
| 山口県立下関中等教育学校学校運営協議会               | 学校運営協議会に出席し、学校運営に関する事項について協議し、意見を述べました。主な協議内容は、教育活動と高大連携事業の取組でした。              | 工学部機械工学科<br>吉村敏彦 教授 |
| 山口県立小野田高等学校学校運営協議会                | 学校と地域を結ぶ組織として、学校の教員と地域の様々な組織・団体の方から構成されている学校運営協議会を設置しています。                     | 工学部応用化学科<br>白石幸英 教授 |
| 山口県立宇部高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会  | スーパーサイエンスハイスクールの運営に関し、専門的見地から指導・助言を行うため委員会が設置されています。                           | 大学院工学研究科<br>石川敏弘 教授 |
| 山口県立下関西高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会 | スーパーサイエンスハイスクールの運営に関し、専門的見地から指導・助言を行うため委員会が設置されています。                           | 大学院工学研究科<br>石川敏弘 教授 |
| 山口県立宇部総合支援学校                      | 学校薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校内の衛生保持に関する指導・助言者としての職務に従事します。                           | 薬学部薬学科<br>尾家重治 教授   |
| 宇部市学校給食センター                       | 薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校内の衛生保持に関する指導・助言者としての職務に従事します。                             | 薬学部薬学科<br>尾家重治 教授   |
| 宇部市立見初小学校                         | 学校薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校内の衛生保持に関する指導・助言者としての職務に従事します。                           | 薬学部薬学科<br>尾家重治 教授   |
| 宇部市立新川小学校                         | 学校薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校内の衛生保持に関する指導・助言者としての職務に従事します。                           | 薬学部薬学科<br>尾家重治 教授   |

|                         |                                                                                                  |                     |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 山口県立小野田高等学校(全日制・定時制)    | 学校薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、学校環境衛生検査、学校保健委員会、学校薬品管理等の技術及び指導に従事します。               | 薬学部薬学科<br>恵谷誠司 教授   |
| 山口県立小野田工業高等学校(全日制・定時制)  | 学校薬剤師<br>学校保健安全法に基づき、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、学校環境衛生検査、学校保健委員会、学校薬品管理等の技術及び指導に従事します。               | 薬学部薬学科<br>小野浩重 教授   |
| 山口県自動車産業イノベーション推進会議     | 「100年に一度」といわれる自動車産業の構造・技術変革に対応するため、山口県内の企業や団体が結集して、新たなオープンイノベーションの推進プラットフォームとなる産学公金連携組織として設置します。 | 工学部機械工学科<br>吉村敏彦 教授 |
| 山口県災害薬事コーディネーター等連携体制検討会 | 災害薬事コーディネーターを設置するため、当該コーディネーターと連携した医薬品供給体制を検討するため検討会を設置しています。                                    | 薬学部薬学科<br>相良英憲 准教授  |

## 8. 消防署との連携

### (1) 学生消防団員

内 容：高齢化などで定員割れが続く消防団の活動を若い力で活性化させようと、消防団員の任用資格を市内に通学する学生も対象とすることに変更し、本学で学生消防団員を募り、2021年度は合計17名の学生が参加しました。



### (2) 防災訓練

開催日：2021年10月7日(木)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：宇部・山陽小野田消防局、山口防災工業株式会社

内 容：宇部・山陽小野田消防局、山口防災工業株式会社の協力のもと、防災訓練を実施しました。

今回初めて学生消防団と本学自衛消防隊が合同で、地震及び火災が同時発生した時を想定した避難訓練を行い、消火栓を用いた消化方法や救助活動、トランシーバーを用いた情報共有等の確認、学生に対して学内システムを用い

た防災メール配信をした上での安否確認をしました。また、煙が充満した場合の避難方法や屋内消火栓、防火扉・シャッター等の防火設備に関する説明、さらに AED（自動体外式除細動器）を用いた一次救命処置の講習会も行いました。



### (3) 普通救命講習

2021 年は 3 回、普通救命講習（Ⅰ）を宇部・山陽小野田消防局小野田消防署から講義を受け、合計 34 名の教職員が受講しました。

心肺蘇生法、AED の使用方法、異物除去及び止血法の方法を学ぶとともに、講習会を通して、応急手当の知識と技術を身につけた。



## 9. その他の取り組み

### (1) 船鉄バスのフリーパスについて

本学と船木鉄道株式会社は、公共交通フリーパスに関する協定を締結しました。

本協定により、2020年4月から、本学に通う学生は学生証を提示することで、船木鉄道株式会社（船鉄バス）が運行する路線バスの全路線を無料で利用できます。

### (2) 研究機器の開放

研究機器センターに設置している大型の測定装置、分析装置を企業に開放しています。

2021年度の企業等の利用状況は次のとおりです。

| 利用企業数 | 利用回数 |
|-------|------|
| 2社    | 9回   |

## 10. 地域からの入学

### (1) 地域推薦

入学者に占める県内出身者の比率を高めるために、学校推薦型選抜では県内の高校等出身者を対象とする「一般推薦【県内枠】」及び「指定校推薦」を採用しており、工学部では24.5%、薬学部では26.7%を県内からの募集人員に設定しています。

2022年度の入学者選抜区分と募集人員は、以下の表のとおりです。

(単位：人)

| 学部  | 入学定員 | 入学者選抜区分と募集人員 |     |    |       |             |
|-----|------|--------------|-----|----|-------|-------------|
|     |      | 県内枠          | 指定校 | 計  | 割合    | 一般選抜<br>その他 |
| 工学部 | 200  | 19           | 30  | 49 | 24.5% | 151         |
| 薬学部 | 120  | 22           | 10  | 32 | 26.7% | 88          |
| 計   | 320  | 41           | 40  | 81 | 25.3% | 239         |

### (2) 入学者に占める山口県出身者（学部）

2022年度の入学者336人のうち、県内出身者は93人と、入学者全体の27.7%となりました。

(単位：人)

| 学部  | 入学者数 | 山口県内出身者 |       | 山陽小野田市出身者 |      |
|-----|------|---------|-------|-----------|------|
|     |      | 人数      | 割合    | 人数        | 割合   |
| 工学部 | 214  | 48      | 22.4% | 10        | 4.7% |
| 薬学部 | 122  | 45      | 36.9% | 2         | 1.6% |
| 計   | 336  | 93      | 27.7% | 12        | 3.6% |

## 11. 地域への人材輩出

大学院進学者を除く 2021 年度卒業生数は、工学部が 163 名、大学院（修士課程）が 15 名で、このうち県内への就職者は 45 名（就職者の約 25.3 %）となっています。

また、県出身者 46 名の県内就職率は、約 56.5 %となっています。

主な就職先は、製造業、建設業です。

（単位：人）

|               | 就職者   | 山口県内就職者 |       | 山陽小野田市内就職者 |      |
|---------------|-------|---------|-------|------------|------|
|               |       | 人数      | 割合    | 人数         | 割合   |
| 工学部           | 154 人 | 44 人    | 28.6% | 14 人       | 9.1% |
| 大学院<br>(修士課程) | 15 人  | 1 人     | 6.7%  | 0 人        |      |
| 計             | 209 人 | 45 人    | 25.3% | 14 人       | 6.7% |

※山口県内企業は県内に本社または事業所がある企業を含む

※山陽小野田市内企業は市内に本社または事業所がある企業を含む

## 12. 地域への経済波及効果

本学が立地することによる地域への経済波及効果（2021 年度）

|         | 山口県への経済波及効果 | 山陽小野田市への経済波及効果 |
|---------|-------------|----------------|
| 直接効果    | 26.0 億円     | 14.8 億円        |
| 生産誘発額   | 21.4 億円     | 12.0 億円        |
| 付加価値誘発額 | 13.4 億円     | 7.6 億円         |
| 総合効果    | 60.8 億円     | 34.4 億円        |

## 13. 市内人口の約 40 人に 1 人が理科大生

2022 年 5 月 1 日現在、山陽小野田市の人口 60,540 人に対し、本学の学生数は 1,499 人（学部 1,457 人、大学院 42 人）となっており、市内人口の約 40 人に 1 人が理科大生となります。

公立大学法人 山陽小野田市立山口東京理科大学  
〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1  
TEL: 0836-88-3500 (代表)



公立大学法人 山陽小野田市立  
**山口東京理科大学**  
Sanyo-Onoda City University